

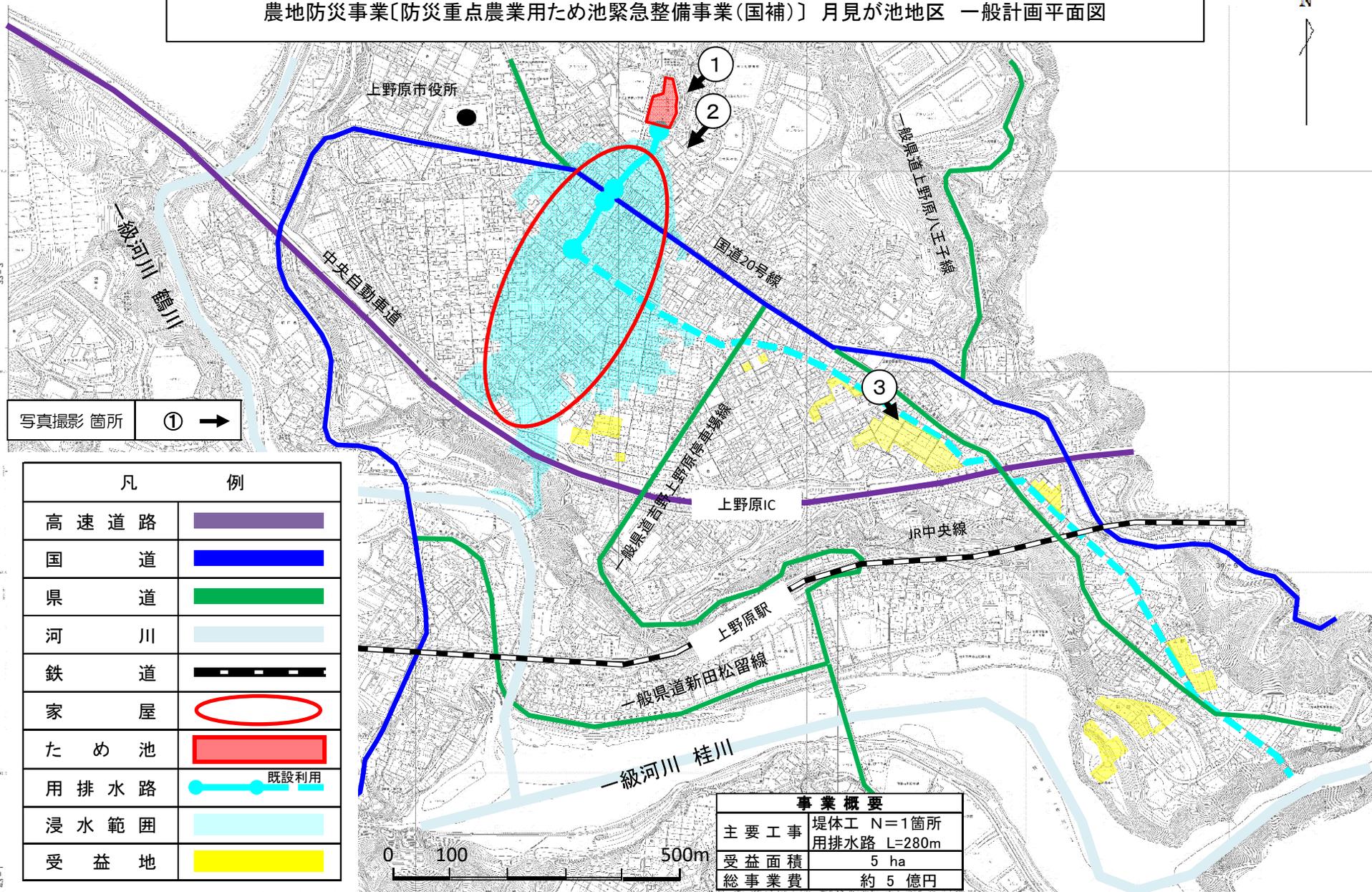
1. 事業説明シート

事業名	農地防災事業 [防災重点農業用ため池緊急整備事業 (国補)]	事業箇所	上野原市上野原	地区名	つきみ いけ 月見が池	事業主体	山梨県																																	
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																				
<p>①課題・背景</p> <p>本ため池は、上野原市東部に位置し、農業用水確保のための重要な農業用施設である。一方で、本ため池は築造から80年以上が経過しており、耐震診断の結果、堤体が地震発生時における所定の基準を満足していないことが判明した。</p> <p>ため池の下流域には人家等があり、大規模な地震または豪雨により決壊した場合、甚大な被害を及ぼすおそれがあるため、早期に防災工事を実施し、住環境の安全、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るものである。</p>				<p style="text-align: right;">妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・本地区の整備は、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に位置づけられている国民の生命及び財産を保護するため、防災工事等の集中的かつ計画的な推進に資するものであり、行政が行うべきである。</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・土地改良法施行令第50条第1項1の3により県が事業主体となって行うべきである。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>500 百万円</td> <td>工期</td> <td>R5 ~ R9</td> <td>基準年</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>479 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1,105 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>395 百万円</td> <td>災害防止効果</td> <td colspan="2">1,120 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他費用</td> <td>84 百万円</td> <td>維持管理費節減効果</td> <td colspan="2">-15 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">B/C</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">2.3</td> </tr> </table> <p>費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p>				総事業費	500 百万円	工期	R5 ~ R9	基準年	R4	経済効率性	費用	479 百万円	便益	1,105 百万円		建設費	395 百万円	災害防止効果	1,120 百万円		その他費用	84 百万円	維持管理費節減効果	-15 百万円							B/C			2.3		
総事業費	500 百万円	工期	R5 ~ R9	基準年	R4																																			
経済効率性	費用	479 百万円	便益	1,105 百万円																																				
	建設費	395 百万円	災害防止効果	1,120 百万円																																				
	その他費用	84 百万円	維持管理費節減効果	-15 百万円																																				
B/C			2.3																																					
<p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○洪水被害危険度の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ため池決壊の構造的危険度 31点 ≤ 67点※ ・ため池決壊に伴う下流域への影響度 9.1点 ≥ 9点※ <p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設老朽度 (使用年数88年) ÷ (耐用年数40年) = 2.20 ≥ 1.00 ※ ・用排水能力向上率 (計画流下能力0.62m³/s) ÷ (現況貯水能力0.27m³/s) = 2.29 ≥ 1.00 ※ <p style="text-align: right;">(※評価基準値)</p> <p>□副次効果 ○既存施設の崩壊危険性の排除 (主体構造物である)</p>				<p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・災害に強い施設に改善する上で必要な整備量としている。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・受益面積規模、事業対象工種から、防災重点農業用ため池緊急整備事業で対応することが妥当である。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・ため池は、生物の多様性の確保をはじめ多面的な機能を有する施設であることから、周辺環境との調和に配慮する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・早期着工の要望あり。</p> <p style="text-align: center;">総合評価</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">[貢献度ランク : a]</p>																																				
(2) 整備内容				(4) 事業位置図等																																				
<p>①整備内容 堤体工 N=1箇所 用排水路 L=280m</p> <p>②着手年度 令和5年度 ③完成見込年度 令和9年度</p> <p>④総事業費 約500百万円 (国費275百万円(5.5/10)、県費170百万円(3.4/10)、市費55百万円(1.1/10))</p>				<p style="text-align: right; font-size: small;">地理院地図(国土地理院)を加工して作成</p>																																				
<p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>測量・地質調査・設計</td> <td style="text-align: right;">30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>堤体工</td> <td style="text-align: right;">170 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>堤体工・用排水路</td> <td style="text-align: right;">150 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>用排水路・付帯工</td> <td style="text-align: right;">100 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>用排水路</td> <td style="text-align: right;">50 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 該当なし</p>								令和5年度	測量・地質調査・設計	30 百万円	令和6年度	堤体工	170 百万円	令和7年度	堤体工・用排水路	150 百万円	令和8年度	用排水路・付帯工	100 百万円	令和9年度	用排水路	50 百万円																		
令和5年度	測量・地質調査・設計	30 百万円																																						
令和6年度	堤体工	170 百万円																																						
令和7年度	堤体工・用排水路	150 百万円																																						
令和8年度	用排水路・付帯工	100 百万円																																						
令和9年度	用排水路	50 百万円																																						

2. 添付資料シート (1)

【平面図】

つきみ いけ
農地防災事業〔防災重点農業用ため池緊急整備事業(国補)〕 月見が池地区 一般計画平面図



写真撮影 箇所 ① →

凡	例
高速道路	
国道	
県道	
河川	
鉄道	
家屋	
ため池	
用排水路	既設利用
浸水範囲	
受益地	

事業概要	
主要工事	堤体工 N=1箇所 用排水路 L=280m
受益面積	5 ha
総事業費	約 5 億円

2.添付資料シート(2)



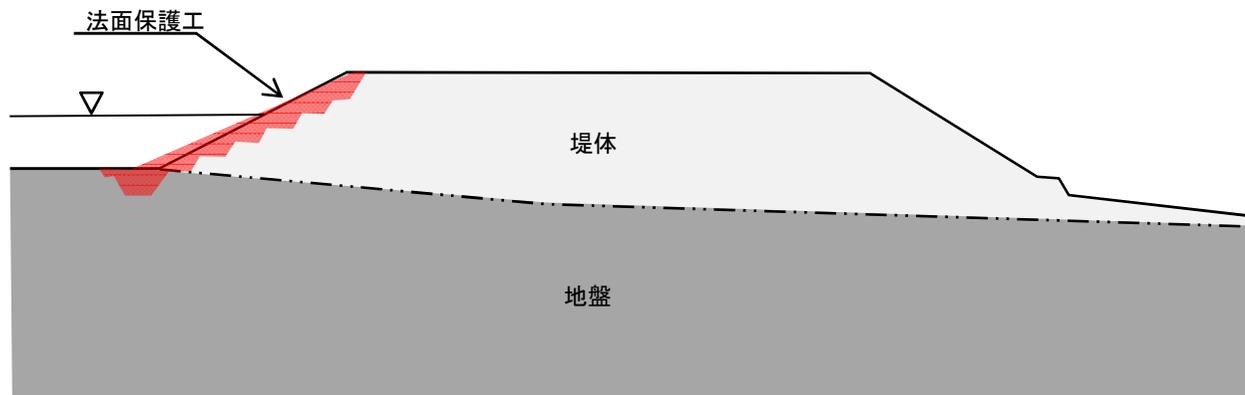
① 月見が池 全景
貯水量 13,500m³、堤高 H=6.4m



② ため池下流には人家があり、大規模地震の際には甚大な被害のおそれがあるため、早急に対策を講じる必要がある。



③ ため池下流の受益農地の状況



耐震対策

堤体の補強
→堤体の安定性確保

豪雨対策

・洪水吐の改修
→豪雨時の
安全性向上

ため池の健全な機能の発揮